

微破壊試験を活用したコンクリート構造物の健全性診断手法調査研究委員会
補修・補強の現状調査と課題整理部会（WG3）
第2回 WG 議事録（案）

議事録担当：松林

■日時：2010年10月13日（水）16:00～18:00

■場所：日本コンクリート工学協会 12階 第2会議室

■出席者：安田副委員長，堤幹事長，
（WG3）岩波主査，谷村，横沢，松林
（事務局）川上

以上7名（敬称略）

- 資料：WG3 2-0 議事次第
WG3 2-1 WG3 第1回 WG 議事録
WG3 2-2 第1回 主査・幹事会 議事録
WG3 2-3 コンクリート構造物の補修・補強事例の収集・整理（電力設備）
WG3 2-4 建築分野における微破壊試験等の活用について
WG3 2-5 補修・補強に関する参考文献－土木技術・土木施工・橋梁と基礎より－
WG3 2-6 事後保全から予防保全へ
WG3 2-7 コンクリート構造物の補修・補強事例の収集・整理（コンクリート工学）
WG3 2-8 山陽新幹線鉄筋コンクリートラーメン高架橋の維持管理
WG3 2-9 ケーソン前壁の損傷段階別（STEP1～3）の補修事例
WG3 2-10 1.OUTLINE OF TARGET STRUCTURE（栈橋の補修事例）

■議事：

1. 開会の挨拶（省略）

2. 前回議事録の確認

資料 WG3 2-1 および WG3 2-2 により前回 WG3 および主査・幹事会の内容を確認した。
議事録に対して特に修正事項はなかった。

（議事録内容確認後の報告および確認事項）

- ・各 WG および主査・幹事会の前回議事録については，既にホームページにアップロードしている。
- ・コンクリート診断士更新の研修会テキストについては，JCI に確認した結果，調査対象として用いることはできないとのこと。
- ・文献の中には，健全度診断を行っても補修・補強しなかった事例もあるが，これは

調査対象に含めるか。

- 補修・補強に至っていない事例であっても、その中から今後の課題が抽出できれば良いので、調査対象に含めても良い。

3. 補修事例の収集結果

各事例収集結果について、報告があった。

WG3 2-3：電力設備に関する事例を、主に雑誌「電力土木」から抽出（堤幹事長）

- 構造物の重要度による要求性能の違いに対応することが課題の一つと思われる。

WG3 2-4：建築分野における微破壊試験等の活用状況について（資料確認：岩波主査）

- 建築分野では土木分野よりも劣化が表面化していない構造物に対して診断する機会が多いようである。

WG3 2-5, WG3 2-6：土木技術・土木施工・橋梁と基礎から補修、補強事例が記載されているものを抽出。（横沢氏）

- 時系列で整理すると、事後保全から予防保全へと考え方が変化していることがわかる。

WG3 2-7：雑誌「コンクリート工学」から事例を抽出。（松林）

- ※事例は少なくとも良いので、もう少し詳しい情報が必要ではないか。（コメント）

WG3 2-8：山陽新幹線鉄筋コンクリートラーメン高架橋の維持管理について紹介（谷村氏）

WG3 2-9, WG3 2-10：ケーソン前壁の損傷段階別の補修事例および栈橋の点検および補修事例について紹介（岩波氏）

（調査事例を踏まえた今後の方針について）

- ・これまでの事例調査をもとに、委員会の目的に沿ったまとめ方を検討・設定し、これに不足する内容を補強する調査を行うこととする。
- ・次回全体委員会（10/18）では、現在までの資料調査状況および調査によりわかってきたこと（土木と建築の違いなど）について30分以内で報告する。報告時の資料については岩波主査に一任する。

4. その他

- ・現場見学について

今年度内に実施することが望ましい。全体会議においても意見を伺う。

→ 適切な現場がないか調べておく（堤幹事長，岩波主査，谷村氏）。

- ・本日の資料の電子データを岩波氏へ送る。

- ・次回 WG3 会議の日程は，全体会議の結果を踏まえて調整する。

以 上